さいたま市 ニュービジネス大賞 2010年度受賞者

× 清水勇人さいたま市長 ＝ ビジネスサミット

キムラセンイ

日本電鍍工業

田中産業

エディプラス

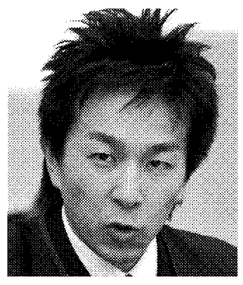
㈶さいたま市産業創造財団が主催し、優れたビジネスプランを表彰する「さいたま市ニュービジネス大賞」の2010年度受賞者が清水勇人さいたま市長と対談した。いずれの受賞者も独創性に優れ、市場性が期待できるビジネスプランを考案。清水市長に事業にかける思いや将来像を熱く語った。清水市長は「事業の成功に結びつくよう、全力で後押ししたい」と力強く応じた。（敬称略）

さいたま市長　清水 勇人 氏

最優秀賞

㈱エディプラス　村田 和久 氏

優秀賞


日本電鍍工業㈱　坂 裕二 氏

優秀特別賞

田中産業㈱　鈴木 友喜治 氏

奨励枠

プレ創業賞

英語ソムリエアカデミー　横溝 美由紀 氏

女性創業賞

染工房上原　上原 三千 氏

ベンチャービジネス賞

ジオックスコンサルタント㈱　林 久夫 氏

優秀コミニティビジネス賞

キムラセンイ㈱　木村 秀之 氏

ユニークなビジネスモデルを紹介

清水　受賞おめでとうございます。対談を通じてみなさんの思い、考え方、ニーズをとらえ政策に反映させていきます。まずはビジネスモデルの紹介をお願いします。

村田　当社が開発した遠心撹拌体の特許をライセンス提供することで収入を得るビジネスモデルを考えました。この撹拌体は応用範囲が広く、直径が試験管程度のものから、海洋関係に使える1㍍以上の大きなサイズまで対応できます。ライセンス契約で、企業とWIN―WINの関係を築いていきます。

鈴木　プラスチックの中に再生ポリプロピレン（PP）材を70％以上含む環境配慮型の容器へのフルカラー印刷技術を確立しました。PP再生材への印刷は非常に難しいとされてきましたがシート作成と印刷技術を組み合わせて実現させました。弊社は紙だけでなく、金属、プラスチックなど印刷から加工まで一貫生産に対応するという目標があり、一つの結果になったと思います。

坂　銀粘土などでアクセサリー作りをしているメタルアートクラフト制作者へめっきを提供する場をつくります。当社は産業向けにめっきを手がけており、個人層に向けた事業は初めての試みです。今後、作品コンテストを開き業界を活性化させたいです。

木村　当社は総合繊維リサイクルの会社です。行政による回収作業がほとんどで繊維、古着の回収は紙やペットボトルに比べて低いのが現状です。今後、商業施設などに気軽にいつでも古着を持っていけるポストなどを設けることで回収率を向上させる社会システムを作っていきたいです。

上原　手描き友禅染を作り、販売し、広めていくサロンを展開していきます。着物以外にネクタイ、ストールなどを提供し、生活の中に取り入れてもらえるようにします。大学で友禅染を学びデザイン力や技術力があっても、就職口が見つからない学生の出口になるような事業にしていきます。

林　微動アレー探査法は、15年前に実用化されましたが理論的に難しいこともあり、地盤を傷つけずに簡便、簡素といったメリットがある一方普及していないのが現状です。これを何とか残していけないかと思い会社を興しました。資源探査や堤防の安定性などに広げ、海外でも普及させたいです。

横溝　英語の絵本の読み聞かせを通じて親子で英語に親しむことに強い可能性を感じています。本物のコミュニケーション能力は家庭から育つと信じており、読み聞かせの人材を育てていきます。

清水市長が受賞者に質問

清水　まず村田さんの事業ですが、羽根ではなく穴の空いた撹拌体はユニークですね。開発経緯は。

村田　図面を読み違えたのがきっかけで基礎的な理論が見つかり、掘り下げていきました。現在、塗装、環境、食品分野でライセンス提供を始めて実際商品化された例も出てきました。特許は防衛で使う企業が大半です。今回の試みが新しい特許運用のビジネスモデルになればと思います。

清水　鈴木さんが開発に携わった印刷技術は今後重要になってくる分野ですね。紙や金属の印刷から加工まで御社に頼むと、一貫生産してもらえるのでしょうか。

鈴木　紙と一部のプラスチック製品で一貫生産できます。今後は、お菓子の缶をはじめとした金属分野にも対応できるようにしていくのが課題です。田中産業に任せれば、印刷から製品まですべてできると言ってもらえるように事業を進めていきます。

清水　坂さんの事業はめっきを個人にまで広げていこうという戦略がポイントですね。

坂　メタルアートクラフトは銀粘土を好きな形状に丸めて焼き、手軽に指輪などを作ることを指しますが、これを楽しむ個人は150万人程度いるとみています。モノづくり企業の海外シフトが進む中、20、30年後も今のお客さまを追いかけるだけではだめです。めっきで高品質技術を保有する当社の強み生かして新市場開拓できないかと考えたのがきっかけでした。

清水　木村さんのお話を聞くと回収率が悪い現状がよく分かります。

木村　日本全国で捨てられる洋服は年間210万㌧で、うち10％しかリサイクルされていません。残りは焼却され埋め立てられてしまいます。しかもまだ着られる服が捨てられています。回収の仕組みが追いついていないのが要因の一つです。行政回収だけではない回収の仕組み作りが、回収率を向上させ循環型社会を作るカギになると思います。

清水　上原さんの事業は、技術を生かしていかに着物以外の商品開発を仕掛けるかがカギですね。

上原　プリントやインクジェットなどが使われている振り袖が出回っており、本物の技術を目にする機会は少なくなってきています。着物に頼っていては技術の伝承もできません。時代にあった新しいデザインで染色することで需要を開拓していきたいです。

清水　林さんにおうかがいしますが、微動アレー探査法をさいたま市で採用するとすれば、どの分野で生かせると思いますか。

林　広域調査であれば地中熱利用や耐震防災マップを作るための地盤調査で使えます。また、高層ビルを建設する際に3000㍍以下の地震基盤まで調査し地震波をシミュレーションしなければならないのですが、ボーリング調査よりも低コストで精度も高いといえます。

清水　英語の読み聞かせと日本語の読み聞かせはどう違うのですか。

横溝　英語の読み聞かせは日本語と違いお子様にとって母国語でないので、楽しむためには注意すべきポイントがあります。また、子どもに伝わる英語は本来は非常に専門性が高いものです。

清水　さいたま市がどういったサポートをすれば事業展開しやすいでしょうか。

村田　当社の技術は他に使ってもらってなんぼの価値です。中小企業がエントリーしやすいライセンスのトライアル期間を設けていくつもりですが、市内中小企業が試作品開発などで利用する際に、助成をしていただければと思います。

木村　小さい規模でかまわないので市がモデルとなって回収のシミュレーションテストをしてもらえるとありがたいです。

坂　めっきを使った作品コンテスト開催の企画や、広告媒体、申し込みツールとしてのウェブページの作成で協力して頂きたいです。専門家のアドバイスを生かし、より多くの人に事業の趣旨を伝えていきたいです。

横溝　利用者の多い公立図書館に英語の絵本の購入を検討してほしいです。また、地域の子育て支援センターなどで、読み聞かせを無償提供していきますが、受け入れ態勢を整えていただければと思います。

▲ 木村氏と鈴木氏

さいたま市への要望と事業の将来像

清水　最後に、将来の夢や事業の見通しなどについて教えてください。

林　海外から導入された技術が多い中で、微動アレー探査法は日本で理論が発表され、日本で開発された技術です。今後はオーストラリア、アメリカなど資源開発が盛んな海外へ進出していきたいです。

上原　染色に関しては、上原にいけば何でも分かる、海外からさまざまな方がいらしても、応えられるような恥ずかしくないモノづくりを目指しています。

鈴木　今回の受賞で広く世間に当社の技術をPRできるチャンスをいただきました。確立したPP材へのフルカラー印刷技術をもとに、さらにリサイクル率を向上させるための研究開発を続けていくことでますます社会に貢献していきたいです。

清水　環境分野や生活向上など、いずれもこれからの時代に合った事業ばかりです。さいたま市としても皆さんの活動を応援できるように努力していきます。事業の成功は皆さんの情熱にもかかっていると思います。これからもよろしくお願いいたします。

▲ 対談風景

▲ 受賞者記念写真

◀ 語りかける清水市長

▼ 村田氏と坂氏

受賞したビジネスモデル

エディプラス	知的財産をコアにした、新しい市場創出（羽が無い！“遠心”撹拌）
田中産業	PP再生率70％以上とフルカラー印刷を両立した環境配慮型容器
日本電鍍工業	さいたま市発！世界一小さなマイブランド作りのお手伝い
キムラセンイ	使用済み衣料の焼却処分STOP!
ジオックスコンサルタント	微動アレー探査法の普及および2次元探査法への研究と実用化
染工房上原	華やかな染色「友禅」と着る漢方「植物染」であなただけの一品を
英語ソムリエアカデミー	英語絵本の読み聞かせ。指導者を育成、子育て英語に新提案！

お問い合わせ先　財団法人 さいたま市産業創造財団　TEL.048-851-6652